

第3回 機関投資家のスチュワードシップ活動に関する 上場企業向けアンケート集計結果概要

区 分	報 告	対象範囲	国内株式
エグゼクティブサマリー 2018(平成30)年4月4日に第3回機関投資家のスチュワードシップ活動に関する上場企業向けアンケート集計結果概要を公表。 今回より対象を東証一部上場企業(2,052社)に拡大し、30.2%にあたる619社より回答。			
バックグラウンド GPIFの運用受託機関のスチュワードシップ活動に関する評価と「目的を持った建設的な対話」(エンゲージメント)の実態および昨年5月のスチュワードシップ・コード改訂以降の変化の把握を目的として実施。本アンケートは2016年(平成28年)より年に一回実施し、今回が3回目。		フィードバック期間及び検証方法	
		便益及びリスク	
戦略プラン 運用受託機関を対象に、スチュワードシップ活動に関するヒアリング及び対話を継続的に実施しているが、運用受託機関に対するヒアリングだけでは、一方的な情報収集になり客観性に欠ける恐れがあること、またエンゲージメント活動がどのように事業会社側に受け止められているのかを把握することにより、全体のレベルアップを図ることを目的としている。		KPI 独立行政法人実績評価の関連項目の評価向上	
		その他	